



地域の人と一緒に田植えをしました

検討するシステムを庁内に設置する考えはないのか。

企画財政部長
推進は、市政の最重要事業として取り組んできた。補助金の一括交付をして、各コミュニティ

し、原資として市民活動への補助を行なう。また、神奈川県大和市には地域の底力事業という制度がある。NPO法人に補助する時、地域のコミュニティと連携して事業をすればさらに補助金を出すという仕組みである。市民活動推進条例ができてきたこととしてこの時期にこそ、市民活動の活性化の励みになる仕組みを整えるべきである。例えば、合併時より業者委託となった広報配布業務を自治会ではなくコミュニティ組織に委託し、委託料をコミュニティの活動資金としたり、ゴミ袋の販売による収益や、将来的には競艇からの繰入金の一部を市民活動資金に繰り込むことで、市民の環境意識や競艇事業への関心を高めることになる。これらを真剣に

の自由と責任のもと、それぞれの特性を生かした地域づくりが、全市に展開されるよう運用している。市民活動の活性化に係る財源確保については、あらゆる角度から検討すべきである。議員に提案いただいた件も含め、今後、総合計画や集中改革プランなどの策定や進捗管理作業の中で重要課題と位置づけ、市民の理解と納得が得られる方策を考えた。

ごみ分別収集の考え方について

中谷議員 今年度から発泡スチロールトレイを不燃ごみから可燃ごみに変更しているが、これ

は二つの問題がある。

一つは資源の浪費。再生利用すれば何度も資源となるものを、熱資源で利用すると、いくら発電に使用しても燃やせばそれっさりなくなり、資源を無駄にしないという観点から極力避けなければならぬ。

二つ目は市民の分別収集の意識に与える影響である。分別収集の徹底は市民の納得と理解により進み、可燃ごみと不燃ごみの区別が分からなくなる今回の変更は、分別の意識の根底を揺るがしかねない。発泡スチロールトレイは、資源として分別収集すべきと考えるが市の方針を伺いたい。

生活環境部長

クリントピア丸亀での担当者会などで焼却処理の安全性や費用対効果など議論を重ね、旧丸亀、飯山地区は破砕を伴わない発泡スチロールトレイ類は可燃ごみにすることになった。また綾歌地区のプラスチック製容器

平成十八年六月二十一日

(提出先)

丸亀市議会

内閣総理大臣

外務大臣

経済産業大臣

環境大臣

農林水産大臣

衆議院議長

参議院議長

包装の再商品化も固形燃料化することから、可燃ごみとして収集処理したい。なお、プラスチック製容器包装を可燃ごみに変更すると、ペットボトルの外装など取り除く必要がなく、クリーンセンター丸亀で一体的に中間処理ができ、破砕後の埋立処分が減少し、最終処分場の延命化が図られる。

つばめ教室の今後について

尾崎委員 つばめ教室は、丸亀市肢体不自由児育成会により、昭和四十八年、同じ悩みを持つ親や子どもにも集まって話し合える場として始まり、現在はひまわりセンター三階にある。感覚訓練遊具や室内プール、床暖房の設備も整っており、障害を持つ子どもたちが使いやすく、発達を援助することを考えて設計されている。登録数は一歳児

市民の努力で分別収集ができています



二名、三歳児一名、四歳児一名、五歳児一名の計十名おり、常時通園している子どもは三名だが、その他の子どもたちも週一回程度訓練のため通園している。つばめ教室に通い、トイレで排泄できるようになった子もおり、重要な役割を果たしている施設を、保護者の思いも十分聞かずに、一方的に廃止の決定をするのはなぜか見解を伺いたい。

健康福祉部長 心身障害児の通園事業として、障害児に対し、食事等の日常生活における基本的な動作の訓練を行ってきた。平成十五年は一日平均八・六人の利用があったが、近年、幼稚園、保育所での障害児の受け入れが促進され、現在は一日平均三名程で、事業の経営が非常に厳しくなったことから本年九月をもって休止することに決定した。障害をもつた児童へのデイサービス事業は非常に重要であるため、保護者との休止に伴う問題点について事前協議を行う

た結果、現在利用している児童は民間事業者への受け入れができ、保護者からの了解も得ているとのことである。

市民会館の利用料金について

山本議員 市民会館は利用料金が高いので、宇多津のユープラザを借りている市民もいると聞く。大ホールの年間利用率は二九％で、これは年間二百六十日も利用されていない計算になり、非常に効率が悪い。市民会館の概要に、「多くの市民が芸術鑑賞並びに文化活動を通じて、身



まるがめクラシックギャラリーコンサート

各施設のホール利用料金（全日使用）

施設名	平日	土日	収容人員
丸亀市民会館 大ホール	74,000円	93,000円	1,302人
うたづユープラザ	47,000円	56,400円	624人
高松テルサ	86,625円	97,020円	511人
香川県民アクトホール	91,700円	110,000円	807人

近に心の豊かさを実感できるような文化芸術の振興、蓄積、発信を図り、中讃地域における文化創造の拠点として活発な運営に努める」とある。もっと市民が利用しやすい料金設定の見直しができないのか。

文化部長 市民会館は昭和四十四年丸亀市制七十周年記念事業で建設され、大ホール千三百二人を収容できる県下でも大きな施設である。地域文化の向上を目指して取り組んでいる自主文化事業は、鑑賞型や参加型、育成型の各種事業を行っている。大ホールの利用料は、類似団体と比べてもうたづユープラザを除いて、他の施設の方が若干高くなっているが、市民会館の固

定席数、維持管理の経費を考えると、現在の利用料金は適正な額と考える。今後は類似施設などを参考に検討したい。

また市民会館の効率的利用方法については、使用者のニーズを把握し、総合的な観点から検討したい。運営についても、文化の交流拠点、市民の自由な文化活動の拠点として、より多く

交通事故抑止に関する決議

一瞬にして人命を奪い、平和な家庭と暮らしを破壊する悲惨な交通事故を防止し、安全で快適な生活環境を確保することは、市民すべての切実な願いである。

しかしながら、本年の県内における交通事故による死者数は、県民各位及び関係機関・団体の真摯な努力にもかかわらず、人口十万人当たり全国ワースト第一位である。

本市においても、交通事故による死者数が六月十四日には八人となり、先月二十二日からの短期間に六人の方が亡くなるという非常事態となっている。

一日も早くこのような事態を打開し、悲惨な交通事故を根絶するためには、市民一人ひとりの交通安全意識の高揚と交通安全の向上が重要である。

よって、本市議会は、関係機関・団体はもとより、家庭、学校、職場、地域など、市民総ぐるみで展開される交通安全運動を支援し、全国に誇れる安全で快適な丸亀市の実現に向け、全力を尽くすことを表明する。

以上、決議する。

平成十八年六月二十一日

丸亀市議会

の市民に愛され、市民に利用しやすい会館となるよう努めていきたい。

議会だよりは、紙面の都合により、議員の質問の中から一項目を選び、質問・答弁の内容を要約の上掲載しています。

委員会審査

一般会計補正予算など 各委員会でも原案承認

六月五日の本会議において各委員会にそれぞれ付託された議案の審査は、十二日に総務、教育民生、十四日に都市経済、生活環境と順次開かれ、市長や助役をはじめ関係部課長が出席して、細部にわたる審査を行いました。主な質疑、要望は次のとおりです。

(◎委員長 ○副委員長)

総務委員会

- ◎浜西 和夫
- 小橋 清信
- 松永 恭二
- 亀野 忠郎
- 横川 重行
- 小鹿 一司
- 杉尾 眞澄
- 青竹 憲二
- 倉本 清一

〈主な質疑〉

- さぬき浜街道の四車線化に伴う用地先行取得の単価設定。
- 公共公用施設アスベスト対策にかかる国庫補助金の見直し。
- 市議会の議員その他非常勤の職員に該当する人数。
- 休業補償、障害補償の内容。



安全で快適な走行のため早急な道路整備を

〈主な要望〉

- 土地の先行取得において、債務負担行為の変更を伴う場合は、購入単価等土地の取得に関する内容を議案に報告いただきたい。

教育民生委員会

- ◎広田 穰
- 多田 光広
- 三宅 真弓
- 尾崎淳一郎
- 三木 まり
- 高橋 等
- 小松 利弘
- 高木 新仁

〈主な質疑〉

- 綾歌養護老人ホームの民間譲渡の必要性及び根拠。

- 綾歌養護老人ホームの民間譲渡によるサービス向上の内容。
- 綾歌養護老人ホーム周辺住民への説明会の開催状況。
- 養護老人ホームの民間譲渡を検討する段階での議論の必要性。
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の内容。
- 長期休暇中の放課後留守家庭児童会保育料を加算する考え方。
- 放課後留守家庭児童会条例中の「保護者等の送迎の責務」に対する考え方。

〈主な要望〉

- 中学校運動部活動推進地域連

委員会も傍聴できます

詳細は議会事務局まで (☎二四一八八二八)

都市経済委員会

- ◎引田 忠温
- 内田 俊英
- 高田 重明
- 山本 直久
- 大前 誠治
- 小野 健一
- 三谷 節三
- 香川 脩
- 北山 齊伯

〈主な質疑〉

- 非常勤消防団員の退職報償金を支給にかかる勤務年数の数え方。
- 非常勤消防団員の退職者及び入団者の現状。

生活環境委員会

- ◎長友 安広
- 中谷真裕美
- 岡田 健悟
- 横田 隼人
- 高木 康光
- 岩崎 勲
- 松浦 正武
- 田中 英雄

〈主な質疑〉

- 高金利対策として借り換える下水道債の利率。
- 現在残っている下水道債の平均利率。
- コミュニティバス購入の金額及び財源内訳。
- 今後バスを更新していく予定及び更新計画の策定。
- コミュニティバス車体への広告募集の検討。

〈主な要望〉

- コミュニティバスの保守点検を徹底するよう市としても管理、監督をしていただきたい。
- バス購入の補助制度を研究するなど資金面も含め、今後のバス更新計画を立ててもらいたい。

本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。
会議の当日、本館2階傍聴受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。
詳しくは議会事務局まで (☎24-8828)

議会から市民のみなさんへ

虚礼廃止について

- 一 年賀状、暑中見舞いなどに類するあいさつ状(自筆のものを除く)の禁止。
 - 二 公私を問わず、各種行事に対する寄附の禁止。
 - 三 葬式の香典(法に定める六親等以内を除く)は、自粛。
 - 四 右記の各々は、議員後援会や議員の関係団体の名前にお願いする場合同様とする。
- 議員などの行為に対して公職選挙法により制限されていますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

議会中継のお知らせ

本会議は中継ケーブルビジョン(CVC)の二チャンネルで生中継しています。
開催当日の午後六時から再放送もしていますので、ぜひご覧ください。

また、綾歌・飯山市民総合センターでは、一階ロビーにおいて、本会議のビデオ放映(本会議の翌々日の午前と午後一回)をしています。

ご案内

次回の定例会は
九月上旬予定

会議録を見たときは

議会だよりに掲載された事柄以外の質疑や質問、答弁の内容について詳しく知りたい方は、パソコンからインターネットを通じて、「丸亀市議会会議録検索システム」を開くと、会議録の閲覧や検索ができます。また丸亀市のホームページからも検索できます。

このほか、会議録は、図書館(中央・綾歌・飯山)や綾歌・飯山市民総合センターでも印刷物をご覧になれます。

〈検索・閲覧の手順〉

- ①丸亀市ホームページを開く
- ②「丸亀市議会」から「会議録」を開く
- ③「云議録検索システム」を開く
- ④項目を選んで検索



審議した議案とその結果

6月定例会

議案第58号	平成18年度丸亀市一般会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第59号	平成18年度丸亀市公共下水道特別会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第60号	平成18年度丸亀市養護老人ホーム特別会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第61号	丸亀市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	(原案可決)
議案第62号	丸亀市放課後留守家庭児童会条例の一部改正について	(原案可決)
議案第63号	丸亀市綾歌総合文化会館条例の一部改正について	(原案可決)
議案第64号	丸亀市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	(原案可決)
議案第65号	丸亀市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	(原案可決)
議案第66号	工事請負契約の締結について(丸亀市立飯山北小学校第2棟大規模改修工事)	(原案可決)
議案第67号	物品の購入について(コミュニティバス)	(原案可決)
議案第68号	監査委員(議員選出)選任の同意について	(原案同意)
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	(原案同意)
意見書案第2号	出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書	(原案可決)
意見書案第3号	違法伐採問題への対応強化を求める意見書	(原案可決)
決議案第1号	交通事故抑止に関する決議	(原案可決)